



# 第227回 物質循環談話会

共催：2023年度第4回数理学談話会

2023年10月24日(火)13:30-15:00

13番教室（理学部C棟1階）

SPEAKER: **勝山 正則** 先生

(京都府立大学 生命環境科学研究科／教授)

TOPIC: 森林流域におけるかく乱に伴う渓流水の  
硝酸態窒素濃度の長期変動とその規定要因

滋賀県南部に位置する桐生水文試験地において、渓流水・地下水の長期観測を行っている。この森林流域では、流域の一部に存在したアカマツが1990年代にマツ枯れにより枯死し、現在は60年生のヒノキ人工林となっている。マツ枯れの影響で渓流水の硝酸態窒素濃度が上昇し、1990年代後半にピークに達した。2005年にかけて濃度は低下したものの、その後再び上昇し、現在でもかく乱発生前の濃度レベルには戻っていない。このような渓流水の複雑な変動をさまざまなアプローチで検証する。

<キーワード> 水文過程・長期観測・渓流水・硝酸態窒素・森林流域・かく乱



桐生水文試験地の土砂さらい後の様子

☆☆☆興味のある方はお気軽に御参加下さい☆☆☆  
物質循環学コース4年生，院生はセミナーの単位(必修)です。